

2017年4月7日

## 助成事業実施報告書

団体名 NPO 法人 MAIKEN

代表者・役職名 氏名 理事長 三浦 左千夫



### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

多文化共生～外国人に日本語を教える講座実践編です

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

本法人は南米の文化遺産保護研究および経済困窮児童を支援する事業や、在日ラテンアメリカ人の医療や文化教育など生活全般の支援、日本国民と南米諸国民との相互理解を促進し、地域住民と南米諸国民との友好と親善に寄与することを目的とするために設立された団体です。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

現在八王子市内には現在1万人の外国人が居住し、3千人を超える留学生が市内の21の大学に在学する国際的な学園都市となっています。好むと好まざるとに関わらず外国人との関わりを切り離せなくなっているのが現状です。平和で安全な社会生活の維持のためには地域住民と外国人との交流は欠かせませんが、未だお互いの文化や習慣を理解できず、また言葉も正確に理解できない事から引き起こされるトラブルも起きています。この言葉の壁をなくすため日本語を知ってもらう講座を開設します。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

今年度の実践講座では、昨年度に引き続き、座学での井上由巳子講師の日本語を教える講座をメインに開催しました。その他、外国人患者を受け入れている医療関係者、特に外国籍の医師(ブラジル人医師・慶応大学医学部脳外科医、ボリビア人医師・朝霞台診療所開業)と医療通訳者など、外国の文化と教育を背景に持つ外国人の専門家と直接話す機会を設けることで、日本との違いや現場での困難など現状を学びました。

また、医療支援テントやブラジリアンデイで実際にボランティア活動をするなど、積極的に外国人とコミュニケーションを図る場を設けることで、実践的能力を高めています。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

本年度講座は、大学生から定年後に日本語教育に関わる方など幅広い年代の受講生が参加すると共に、外国籍で日本人に外国語を教えている方など日本語のより深い理解を求める方が多く、実践編に相応し、一段と進んだ日本語講座を開催することが出来ました。

また、国際交流イベントでは10代から20代前半の医療職を目指す若い方の参加が多くみられました。各国の文化的背景の違いからくる誤解やトラブルが生まれる事などを実際に知ることで、今後医療の場において実践的な知識として役立つ知識を得ることが出来ました。

講演会では、一日で地球の反対側まで移動することができる今日、予防医学がより必要となっていることを学びました。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

講座を通じ、日本人だけでなく日本で外国語を教えている外国人も、日本語のニュアンスの難しさに悩んでおり、誤解が生じ結果的に社会に溶け込めないと言う事がわかりました。一通り日本語学習の進んだ外国人に対して、日本語独特の曖昧な言い回しを伝える方法など、教科書や辞書にない生きた言葉を伝える事が重要であり、この活動は今後も継続する意義は大きいと思います。

またオリンピックを控え外国からの旅行者も増える事が予測される中、人と共にウィルスや病気も移動するため事前に予防し対策を図る必要が大きくなってきます。外国人に対して適切な問診を行えるよう、医療用語の通訳をできる人材育成の活動を今後新たに行いたいと思います。

## 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし



- ・ 国際感染症と検査業務
- ・ 節足動物媒介性感染症とその予防対策

感染予防のために早めの対策が必要です。

Dengue熱・ZIKA熱・黄熱の流行地  
北東ブラジルを中心にほぼ全域



*Aedes Aegypti*

小児外来



Entre 10:00 ate 15:00  
Local: Restrante Capim Dourado  
(Wakaba)  
Psicologia, consulta, vida e estresse, geral etc.  
Eira Lourdes Vilela  
El asunto de vida e morir  
Eira Sinyu Maruta (Japonesa)  
Consulta psicológica geral  
Eira Michika Siqueira Yamada  
Educação sobre o Chagas  
Eira Inês Moura

在日ラテンアメリカ人の  
教育・医療・生活相談



日本語教師養成教室



ブラジル・ピアウイ州サンライムンドノナト遺跡  
保護支援



春・秋 親睦BBQ

**入場無料**

**日程** 2017年 2月18日 (土)

**時間** 16:00~18:00

**会場** 東京医学技術専門学校本校舎 6階講堂  
墨田区横網1-10-8

**講師** 春木宏介：獨協大学越谷病院検査部長  
三浦 左千夫：(NPO法人マイケン理事長)

**セミナー内容** | 海外の病気に不慣れな日本の医療従事者として二次感染予防につながる検査の現場で必要な知識

**ご予約・お問い合わせ：NPO法人MAIKEN**

**email** office\_admin@maikenbrasil.com

**住所** 〒135-0061八王子市元八王子町2-1935-7

**URL** http://maikenbrasil.com/





**MAIKEN**  
NONPROFIT ORGANIZATION  
NPO法人 MAIKEN



Entre 10:00 ate 15:00  
Local :Restrante Capim Dourado  
(Wakaba)

Psicologia consulta vida estresse geral etc.,  
Dra.Lourdes Yokoyama  
O assunto de vida escolar  
Dr. Shiuji Murata (Japonese)  
Consulta pediátria geral  
Dra.Helena Sayuri Yamada,  
Consulta sobre D.Chagas  
Dr.Sachio Miura

Separar el trabajo de la vida personal



在日ラテンアメリカ人の  
教育・医療・生活相談

MAIKENの活動一覧です



ブラジル・ピアウイ州サンライムドノナト遺跡  
保護支援



日本語教師養成教室



春・秋 親睦BBQ